

## しどけ（もみじがさ）の根株養成技術と作期拡大

(園試 南部分場、高冷地開発センター)

### 1. 背景とねらい

しどけ（もみじがさ、以下しどけとする）は、中山間地域における貴重な宿根野菜のひとつであり、これまで各種作型、栽培法が検討され、その産地化が進められている。

しかし、依然として根株生産が不安定であり、これがしどけの生産が停滞している一要因となっている。一方、岩手県内のしどけの出荷は、3月～5月と短期間に集中しており、有利栽培のための1月～2月の生産拡大や不時栽培技術の開発も望まれている。

そこで、根株養成技術と作期拡大のための長期継続出荷技術について検討した結果、成果が得られたので参考に供する。

### 2. 技術の内容

#### (1) 根株養成技術

- 1) 定植初年目は、黒マルチ利用とする。黒マルチは、雑草の発生を抑制し、根株の生育が旺盛である。
- 2) 根株養成期間の遮光量は、1年目、2年目とも、4月～9月まで60%遮光が良い。
- 3) 促成栽培用の根株は、株重15g以上、太根15本以上、根長25cm以上のものが利用できる。  
2年養成では、40,000株/10a、1年の短期養成でも植え付け株数の50%程度が促成栽培に利用できる。

#### (2) 作期拡大

##### 1) 1月～2月出荷の促成栽培

- ① 1月～2月の促成栽培は、山間高冷地養成の根株が適し、平地養成株と同時期伏せ込みでも、萌芽、収穫が平地養成株より10日程度早く、平地養成株とのリレー生産ができる。
- ② 促成温度は、15℃とする。

##### 2) 長期株冷蔵による不時栽培

- ① 株当たり収量は、5～6gと慣行の加温促成栽培の1/3に低下するが、単価の高い時期に生産ができる。
- ② 根株は、堀取り、洗浄後、低温冷蔵(水分60%程度のカクズ中、0℃±1℃)で11ヵ月程度の貯蔵は可能である。
- ③ 伏せ込み後の温度管理は、温度15℃、遮光率60%が良く、高温条件では、茎が固く、収量、品質が劣る。

栽培法	根株堀取り	根株冷蔵開始	伏せ込み時期	収穫時期
山間高冷地養成	10月上旬	10月上旬	11月上旬	1月下旬
株利用促成栽培	～下旬	～下旬	～下旬	～2月
2年養成株利用	3月上旬	3月上旬	10月上旬	10月下旬
長期株冷蔵栽培	～中旬	～中旬	～12月上旬	～1月

#### (3) 適応地域 県下全域

### 3. 指導上の留意事項

- (1) 促成栽培、長期株冷蔵栽培とも、播種は3月中旬～4月上旬までに行う。
- (2) 促成、長期株冷蔵栽培の収量は、株重、根茎数(分離根茎含む)、太根数等に左右されるので、充実した根株養成に努める。
- (3) 充実した根株の生産のためには、初期生育の良化と7月～8月の高温期の株の生育確保が大切で、遮光の励行、高温乾燥期の灌水が必要である。
- (4) 2年養成株のマルチは、秋の茎葉枯死後、除去し、2年目は簡易な有機物利用(昭和57年 指導参考事項)のマルチとする。
- (5) 根株の堀取りは、みつば堀取り機(振動型 フォーク長25cmに改良)が利用でき、大幅に省力化される。
- (6) 冷蔵根株は、枯死した茎を除去し、清水で洗浄後、オガクズに詰め冷蔵し、伏せ込み時、根株の萌芽茎を切損しないよう、再度、清水で洗浄して伏せ込む。
- (7) 長期株冷蔵用の根株堀取りが年内の場合は、根株を1kg程度に結束し、一時、土中保存して、翌春、冷蔵庫に入庫する。
- (8) 長期冷蔵根株は伏せ込み後、収穫までの所要日数は2～3週間で、早期収穫茎ほど良質である。

#### 4. 試験成績概要

表1 養成2年目の遮光量と生存率(南部分場)

試験年次	遮光量 (%)	調査時期(月/日)				堀取時根株生存率 (%)
		5/28 (%)	6/28 (%)	8/10 (%)	9/10 (%)	
H3年	60	100.0	100.0	100.0	100.0	85.7
	30	100.0	100.0	30.0	30.0	31.4
	0	100.0	100.0	40.0	10.0	33.3
H4年	60	86.7	86.7	86.7	80.0	80.0
	30	80.0	80.0	73.3	40.0	46.7
	0	46.7	46.7	30.0	20.0	26.7

表3 長期株冷蔵と短期株冷蔵の収量

	短期株冷蔵*長期株冷蔵 (35日冷蔵)(7~11ヵ月冷蔵)	
	平均株重 (g)	株当たり収量 (g)
平均株重 (g)	17.5	17.9
株当たり収量 (g)	16.8	5.6
収量比 (%)	100	33

表2 高冷地養成株の堀取り、伏せ込み期と萌芽、収穫期及び時期別収量(40株当たり)

供試	試験年次	堀取り時期(月/日)	伏込み時期(月/日)	供試平均株重(g)	萌芽期(月/日)	収穫期(月/日)	1月		2月		3月		
							本数(本)	収量(g)	本数(本)	収量(g)	本数(本)	収量(g)	
高冷地 2年	H2	10/15	11/20	L	78.1	1/14	1/25	2	6.0	40	160.0	30	179.7
				M	38.2	1/14	1/23	8	24.0	8	52.0	208	879.7
				S	16.2	1/21	3/5					20	75.6
		11/5	12/14	L	73.6	1/22	2/12			147	1240.3	100	501.3
				M	25.0	1/22	2/12			60	340.0	50	333.0
				S	15.4	1/24	2/18			24	176.0	12	44.0
平地 2年	H2	11/5	12/17	M	27.2	2/6	2/22			8	32.0	44	267.8
				S	11.9	2/6	2/22			12	124.0	36	190.4